

教科 名	地理歴史	科 目 名	日本史B	履修クラス	3年全クラス	
				担 当 者	太田尾 智之	
使用教科書		『日本史B 新訂版』(実教出版)			履修単位数	2
副教材等		『最新日本史図表』(第一学習社)				

学習のねらい・育てたい力・目標	評価の観点・評価方法など
近世から現代にいたる日本歴史の展開について、世界史的視野から総合的に考察することを通じ、歴史的思考力を培うことを目標とする。	以下の観点別評価にもとづいた総合的な評価を行う。 ①関心・意欲・態度、②思考・判断、 ③資料活用の技能・表現、④知識・理解

年 間 授 業 計 画			
月	予定 時数	単 元	学 習 内 容 ・ 学 習 活 動
4	中間 考查 まで 12	幕藩体制の 展開と動揺	1 幕藩体制の展開と近世文化の成立 (162～195 ページ) 幕藩体制の成立、鎖国、近世の生活と文化
5			2 幕藩体制の動揺と文化の成熟 (196～240 ページ) 幕府政治の展開、経済の発展、学芸の発展と元禄文化、幕藩体制の動揺と幕政の改革、欧米列強の接近と天保の改革、江戸中・後期の文化
6	期末 考查 まで 14	近代への転 換と近代国 家の形成	1 近代への転換 (241～267 ページ) 開国、明治維新、四民平等と富国強兵、初期の外交、文明開化
7			2 近代国家の形成 (267～300 ページ) 民権運動、立憲政治への展開、条約改正、初期議会と日清戦争、政党の進出と日露戦争、産業革命、近代文化の形成と展開
9	中間 考查 まで 14	両大戦間の 日本と市民 文化	1 第一次世界大戦 (308～312 ページ)
10			2 大戦後の内外環境 (313～321 ページ) 3 政党政治の展開 (322～330 ページ) 4 市民文化の展開 (331～333 ページ)
11	期末 考查 まで 14	十五年戦争 と日本	1 満州事変 (334～337 ページ)
12			2 日中戦争 (338～343 ページ) 3 アジア太平洋戦争 (344～350 ページ) 4 戦時下の国民生活 (351～355 ページ)
1	学期 末考 査ま で 4	現代の日本 と新しい文 化	1 占領と民主化改革 (356～364 ページ)
2			2 サンフランシスコ講和会議と安保体制 (365～371 ページ) 3 高度経済成長下の日本 (372～378 ページ)
3			4 経済大国日本と国民生活 (379～385 ページ) 5 東西冷戦の終焉と日本 (386～393 ページ)

担当者からのメッセージ (授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等)
人間は、自らが生まれる地域・時代を選ぶことができない。 人間は、与えられた地域・時代のなかで生きることを運命づけられている。 「日本」という地域、それぞれの時代に生まれた人々は、時代が与える「課題」をどのように引き受け、どのような「解答」を時代に与えてきたのだろうか。 それを考えることは、今を生きる我々にとってきっと意味のあるものとなるだろう。